

麻生すこやか通信

VOL.
47

医療法人 札幌麻生脳神経外科病院 広報誌 2025年1月

開 院

40 周年をむかえて



理事長

齋藤 久泰

日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会認定専門医
日本脳卒中の外科学会技術認定医
北海道大学客室研究員

新しい年を迎え、皆様が健やかで明るい日々を過ごされますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年は、医療界にとって大変な1年でした。4月から「医師の働き方改革」がはじまり、医師の労働時間が厳格に制限されるようになりました。6月には2年ぶりの診療報酬改定があり、病院経営にとって厳しいものとなりました。そのような中で、いかに今までと変わらず良質な医療を患者さまに提供できるか、病院の舵取りが試された年でした。当院におきましては、職員や患者さまのご協力のおかげで、安定した運営ができたと思います。昨年の外来数、入院数、手術件数は例年と比べて大きく増加しました。非常に忙しい1年でしたが、多くの患者さまのお役

に立てたことを大変嬉しく思っております。この場をお借りして、日頃の皆様のご支援やご理解に改めて感謝の気持ちをお伝え申し上げます。

当院は開院以来、「患者さま第一」を理念として掲げ、高度医療の提供はもとより、地域に寄り添う温かい病院をめざして参りました。脳神経外科疾患の急性期から回復期、そして退院後の維持期まで切れ目のない医療を提供できることが当院の特徴です。脳卒中、脳腫瘍、脊髄疾患、末梢神経疾患など各分野のスペシャリストが在籍しており、また北海道大学病院のご協力も得ながら、最善の医療提供に努めております。昨年、当院では最新の神経外視鏡（ORBEYE）を導入しました。術者や助手が大型モニターに映し出される高画質3D画像を見ながら執刀します。従来の顕微鏡と組み合わせることで、より安全で効率的な手術ができるようになりました。また、電子カルテ、放射線情報システムを7年ぶりに更新しました。様々な改善点があり、外来、入院患者さまの検査、治療のオーダーなど、色々な業務がより効率的に行えるようになりました。

今年は、開院40周年の節目となります。この40年で医療は目覚ましい進歩を遂げ、時代は大きく変わりましたが、これからも当院は「患者さま第一」の精神を大切に、患者さま一人ひとりに寄り添い、信頼される医療を提供できるように努力を続けて参ります。今後とも皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

医療生活相談室

突然の発症や障害に伴う様々な生活へのご不安、
ご心配についてご相談をお受けしています。
5名の医療ソーシャルワーカーが配置されています。

【相談件数】新規依頼1,566件 再依頼1,320件 面接件数2,444件
(※2023年度実績)

主な相談・支援内容

- 退院支援: 転院相談、在宅調整、施設入所
- 経済問題: 入院費・生活費への不安、無保険・無年金、借金等の問題
- 家族問題: 身寄り無し、家族関係不良、単身者、老々介護、認知介護
- 就労支援: 復職、福祉的就労(就労継続支援、就労移行支援)
- 権利擁護: 成年後見制度や事務委任契約の活用
- ACP: 人生会議ノート説明希望者～院内倫理委員会との連携



主な連携先

行政、地域包括支援センター、ケアマネジャー、社会福祉協議会、介護保険事業所、介護施設・他医療機関、支援相談員、自立支援事業所、ハローワーク、障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、就労移行支援事業所、弁護士等

脳卒中診療システム構築への取り組み ～地域関係機関との連携・協働～

令和6年「北海道循環器病対策推進計画」では、再発予防に加え脳卒中発症による後遺症へのリハビリテーションや社会連携に基づく患者支援、治療と仕事の両立支援・就労支援などが謳われています。

医療ソーシャルワーカーは院内多職種や地域関係機関と連携・協働し、保健、医療及び福祉に関わるサービスの提供体制づくりに参画しています。

脳卒中再発予防

脳卒中は10人に1人が再発すると言われています。予防への取組支援として、NPO法人北海道医療連携ネットワーク協議会作成「あんしん生活ガイドブックVer.3」をご紹介します。ご興味のある方は医療生活相談室まで。



身体拘束最小化にむけて

身体拘束(抑制)は、人権侵害、QOL低下を招く行為であるものの、急性期医療の中で、患者の生命危機と身体的損傷を防ぐために拘束をせざるを得ない場面があります。いかに拘束を最小化していけるか、院内検討チームに医療ソーシャルワーカーも参加し取り組みを開始しています。



ACP(アドバンス・ケア・プランニング)

万が一の時に備え、自分の大切にしていることや望み、治療やケアをどのように受けたいかについて自分自身で考えたり、信頼する人達と話し合ったりすることです。考えるための参考となる「人生ノート」(当院倫理委員会作成)をご紹介します。



復職・就労支援

病気や後遺症により、元の仕事に復帰する事に支障がでることがあります。様々な就労支援機関と連携を図り、復職・就労の支援を行います。月1回「コロポックル札幌」から物販に来ていただき、就労状況の見学や相談等でご協力頂いています。



医療ソーシャルワーカーは、患者さま・ご家族のウェルビーイング(より良い状態、福利)の向上を目指し、院内職員や地域関係機関と連携・協働しながら支援を行っていきます。

当院の 飯野智恵子看護部長 が

北海道社会貢献賞を受賞致しました



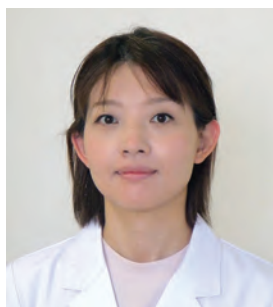
令和6年11月2日(土)、札幌コンベンションセンターにて北海道社会貢献賞の表彰式が執り行われ、当院の飯野智恵子看護部長が医療関係功労者の分野で表彰されました。北海道社会貢献賞は、北海道の経済や社会、文化などの発展に貢献した個人や団体に対して、北海道知事から贈られる賞です。



飯野看護部長は、昭和61年に市立釧路総合病院へ入職し、その後、平成8年から当院で勤務しており、その間、当院内のみならず北海道看護協会の役員等も歴任するなど活躍しております。

永年にわたり看護師として看護の発展に尽力し、地域住民の健康保持・増進・療養支援、看護研究、看護職の育成など多岐に渡る貢献・功績が認められ表彰されました。この度の受賞、本当におめでとうございます。

新任 ドクターご紹介 Doctor Introduction



医師 志藤 里香

脳外科の志藤里香と申します。熊本大学を卒業後、脳卒中、脳腫瘍、機能外科、定位放射線治療と脳神経外科全般の治療に従事してまいりました。

北海道は広い大地と豊かな自然に恵まれ、農業を含む力仕事に携わる方が多く、また遠距離をおして受診される患者さまが多いことと存じます。

米国研究留学中に米国の臨床医療に興味を持ち、現在日米両国で脊椎外科を学ぶ機会をいただきました。日本で一番と言われる札幌麻生脳神経外科で患者さまの痛みや症状に寄り添う診療ができるように、全力で努力していきます。どうぞよろしくお願い致します。

2004年熊本大学医学部卒。2016年慶應義塾大学大学院医学研究科卒。2004年より慶應義塾大学病院、2006年静岡赤十字病院脳神経外科、2007年慶應義塾大学医学部脳神経外科、2014年脳血管研究所美原記念病院脳神経外科勤務。2016年脳血管研究所美原記念病院ガンマナイフセンター長、2019年UCLAデイヴィッド・ゲフィン医科大学放射線科客員研究員、2021年セントルイス・ワシントン大学脳神経外科客員研究員、2023年ニューメキシコ大学神経学部客員研究員。2024年7月より札幌麻生脳神経外科病院勤務。



医師 白井 東磨

昨年10月から赴任いたしました白井東磨と申します。茨城県出身で、北海道大学を卒業後は道内で勤務しております。現在は脳神経外科として学ばせていただいております。当院では救急外来と入院中の患者さまの治療を主に担当しております。

至らない点もあるかとは思いますが、患者さま、ご家族の方へ適切で丁寧な診療を提供できるよう精一杯尽力いたします。どうぞよろしくお願い致します。

2022年北海道大学医学部卒。2022年4月より釧路労災病院、2024年4月北海道大学脳神経外科勤務。2024年10月より札幌麻生脳神経外科病院勤務。

院内イベント開催

当院では、患者サービス向上並びに職員の職場環境充実を目的として、病院内での飲食店による訪問販売などのイベントを開催しております。

これまでに開催したイベントは、近隣地域のコーヒー屋さんによる院内テラスでのコーヒーや軽食などの販売、札幌市内の飲食店が運営するキッチンカーでの飲食販売など、皆さまにご好評をいただいております。



今後も、患者さまをはじめとすご来院いただいた方々や、院内で働く職員など、当院に係って頂いている皆さまに喜んでいただけるようなイベントの企画立案を予定しております。

このイベントは月1回程度開催しており、どなたでもご自由にご利用いただけるものとなっておりますので、開催している際はぜひお立ち寄りください。

職場環境充実委員会 委員長 笹森 徹



🕒 診療受付時間

月～金 午前 8:45～午後 4:00

土 午前 8:45～午前11:00

※お昼休みはございません

休診：日曜日・祝日・年末年始（12/30～1/3）

医療法人 札幌麻生脳神経外科病院

〒065-0022 札幌市東区北22条東1丁目1-40

TEL 011-731-2321(代表) FAX 011-731-0559

ホームページ <http://www.azabunougeka.or.jp>

交通アクセス

- 地下鉄：南北線 北24条駅下車
(2番・3番出口から徒歩約7分)
- 中央バス：「北21東1」下車、徒歩約2分
- 中央バス：「北24東1」下車、徒歩約2分



ホームページ

当院への
バス路線
中央バス

屯田線 02・篠路駅前団地線 36・元町線 70

花川南団地線 09 14・花畔団地線 16

石狩線・石狩線(トーマン団地行)・札厚線



※お間違いのないようご注意ください

- 往路と復路とで停留所の異なる路線があります。
花川南団地線 14・花畔団地線 16・石狩線・石狩線(トーマン団地行)
- バス停「北24条東1丁目」は旧石狩街道・宮の森北24条通の2カ所あります。